

加茂駅周辺まちなかエリアプラットフォーム  
令和6年度 第3回ワーキンググループ 次第

日時：令和6年9月25日（水）14時00分～

場所：加茂市役所3階 301・302会議室

（敬称略）

0. 配布資料の確認／ 事務局

- (1) 次第
- (2) 参加者名簿
- (3) 加茂市環境課説明資料
- (4) 全体会議要旨・修正対応内容
- (5) 未来ビジョン（案）
- (6) 未来ビジョン概要版（案）
- (7) 企画案のまとめ

参考資料）第1回エリアプラットフォーム全体会 資料一式

1. 開会／14：00～14：05 事務局

2. 加茂市環境課より公共交通の取組について報告／14:05～14:15 加茂市 資料3参照

3. 全体会の結果及び対応報告／14:15～14:30 事務局 資料4～6参照

4. 意見交換の進め方／14:30～14:35 事務局

5. 企画案についての意見交換／ 14:35～16:00 資料7参照

6. 事務連絡／ 16:00 事務局

7. 閉会

**第3回加茂駅周辺まちなかエリアプラットフォーム  
ワーキンググループ参加者名簿**

【2024.9.25 12:00確定】

(順不同・敬称略)

	氏名	所属	等出	欠	グループ	備考
1	永山 光夫	加茂商工会議所 まちづくり委員会 副委員長		出席	A	
2	堀内 大祐	加茂商工会議所 まちづくり委員会 委員		出席	B	
3	涌井 陽	加茂市商店街協同組合 (涌井金太郎商店)		出席	C	
4	捧 泰士	加茂市商店街協同組合 (AMEYAAISU)		欠席	-	
5	萩野 正和	株式会社connel 代表取締役		出席	A	
6	松井 大輔	新潟大学工学部工学科 准教授		出席	B	随員：中村様
7	加藤 はと子	全国「道の駅」女性駅長会 会長		欠席	-	
8	高 澤 浩	第四北越銀行 加茂支店 支店長		出席	C	
9	水谷 景子	第四北越銀行 加茂支店 主任		出席	C	
10	山口 翼	第四北越銀行 加茂支店 主任		欠席	-	
11	小林 裕	加茂信用金庫 本店営業部 部長		出席	B	15:40頃 早退
12	夏目 一寿	加茂信用金庫 総合企画部 課長		出席	B	
13	小林 一隆	NST新潟総合テレビ 情報制作本部 デジタルマーケティング部 部長		出席	A	
14	齋藤 祐樹	加茂市 政策推進課 課長		欠席	-	代理：有本 (事務局)
15	中浜 孝昭	新潟県三条地域振興局 地域整備部 計画専門員(総括)		出席	A	
16	西村 太佑	加茂青年会議所 理事長		出席	C	
17	落合 純	新潟経営大学 地域活性化研究所 所長		出席	A	
18	青山 准	NTT東日本 新潟支店 地域基盤ビジネス課長		出席	C	
19	永井 麻美	NTT東日本 新潟支店 まちづくりコーディネーター担当チーフ		出席	C	
<b>(オブザーバー)</b>						
20	宗村 真斗	JR東日本 新潟支社 企画総務部 経営戦略ユニット(地域交通・計画調整) 主任		欠席	-	
21	本間 達朗	JR東日本 新潟支社 企画総務部 経営戦略ユニット(地域交通・計画調整) 主務		欠席	-	
22	本保 輝紀	Reterras合同会社 代表		欠席	-	
23	横山 聡	加茂市スポーツ振興課 スポーツまちづくり推進ディレクター		欠席	-	
24	阿部 駿	加茂市観光協会 事務局長		出席	C	
25	鈴木 智也	加茂市観光協会 事務局		欠席	-	
26	鈴木 宏和	加茂市商工観光課観光係 係長		出席	B	
27	小野 慎太郎	加茂市建設課都市計画係 課長補佐		出席	A	
28	和田 丈裕	加茂市建設課都市計画係 主査		欠席	-	
<b>(事務局)</b>						
	近藤 真史	事務局(加茂市政策推進課政策推進係長)		出席	フリー	
	有本 隆輔	事務局(加茂市政策推進課主事)		出席	B	
	花田 浩一	事務局(㈱オリエンタルコンサルタンツ)		出席	C	
	塚越 さと実	事務局(㈱オリエンタルコンサルタンツ)		出席	B	

令和 6 年 5 月 1 4 日  
総合政策局地域交通課

## 地域の多様な関係者の「共創」による地域交通の維持・活性化の取組等を支援します！

～令和 6 年度「共創・MaaS 実証プロジェクト」の事業選定について～

地域の多様な関係者の「共創」により地域公共交通の「リ・デザイン」を進めるため、「共創・MaaS 実証プロジェクト」の公募を行いました。応募のあった事業については、有識者のご意見も踏まえて、地域交通の維持・活性化に取り組む「共創モデル実証運行事業」を 1 6 0 件、交通を軸として地域全体をコーディネートできる人材を育成する「モビリティ人材育成事業」を 5 7 件、選定いたしました。これらの取組等を支援するとともに、他地域において参考となるよう、横展開を図ってまいります。

### 1. 事業概要

令和 6 年度「共創・MaaS 実証プロジェクト」は、地域の多様な関係者が連携・協働した取組を通じて、地域交通の維持・活性化を図る事業を支援するものです。今回は、以下の①共創モデル実証運行事業、②モビリティ人材育成事業について、選定いたしました。

#### ① 共創モデル実証運行事業

交通を地域のくらしと一体として捉え、その維持・活性化を目的として、地域における複数の関係者の「共創」（連携・協働）による取組や「共創」を支える仕組みを構築する事業を対象とします。

#### ② モビリティ人材育成事業

地域交通を軸とした共創の取組の促進・普及に向け、モビリティ人材（地域交通と他分野の連携を推進するコーディネート人材、地域交通のマネジメント人材、デジタル活用等により地域交通を支援する人材など）の育成・確保に関する仕組みの構築や運営を行う事業を対象とします。

### 2. 事業選定について

- 本年 2 月 2 7 日から 4 月 5 日にかけて公募を行い、①共創モデル実証運行事業は 1 6 0 件、②モビリティ人材育成事業は 5 7 件の事業を選定いたしました。（選定事業一覧は別紙参照）
- 国土交通省としては、選定事業における実証運行等を支援するとともに、ウェブサイトへの掲載等による積極的な周知・横展開を図ってまいります。  
※ウェブサイトの URL：<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/kyousou/>

※ ①共創モデル実証運行事業及び②モビリティ人材育成事業については、5 月下旬以降に 2 次公募を予定しております。詳細は決定次第、別途ご連絡いたします。

#### 【お問い合わせ先】

総合政策局地域交通課 山口、大橋、菊地  
TEL：03-5253-8111（内線 54-724、54-817） 03-5253-8987（直通）

# 「共創・MaaS実証プロジェクト」(令和6年度)について

地域の多様な関係者の「共創」により地域の交通の維持・活性化に取り組む実証プロジェクト等を支援します！

## 1. 共創モデル実証運行事業

※運行（次年度に運行する場合や既存運行を活用する場合を含む）を伴う実証事業が対象となります。  
 運行の交通モード（鉄道・路線バス・デマンド交通・自家用有償旅客運送・タクシー・航路など）は問いません。

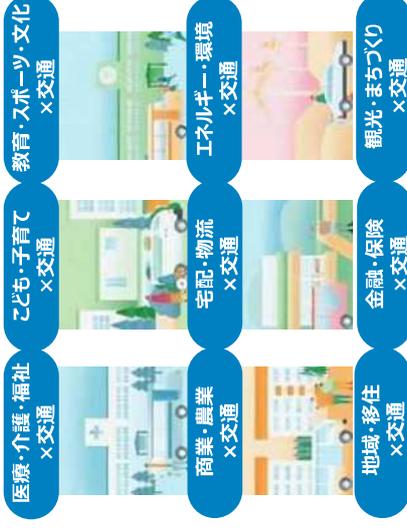
交通を地域のくらしと一体として捉え、地域の多様な関係者の「共創」(連携・協働)※によりその維持・活性化に取り組む実証事業

【補助対象事業者】 交通事業者等を含む複数の共創主体で構成される協議会や連携スキーム等  
 (「共創プラットフォーム」)

【補助対象経費】

- ・事業実施のための基礎データ収集・分析、協議会開催に要する経費等
- ・事業実施にあたり必要となるシステム構築、車両購入・改造に要する経費
- ・実証事業に要する経費

※「官民共創」、「交通事業者間共創」、  
 「他分野共創(交通と他分野の垣根を越えた連携)」



<補助率> 地域の類型に応じて、メリハリをつけた支援を展開します！ (補助上限額：1億円)

<b>A 中小都市、過疎地など</b> 【人口10万人未満の自治体】 500万円以下は定額 500万円超部分は2/3	<b>B 地方中心城市など</b> 【人口10万人以上の自治体】 補助率2/3	<b>C 大都市など</b> 【東京23区・三大都市圏の政令指定都市】 補助率1/2
---	---	--

## 2. モビリティ人材育成事業

地域公共交通のリ・デザインを推進するため、モビリティ人材（交通に関する知見・データ活用のノウハウ・コネクティネートのスキル等を有する人材）の育成に関する仕組みの構築や運営を行う事業

【補助対象事業者】 地域における交通やまちづくりに取り組む人材の育成を行う、都道府県・市町村・交通関係団体・まちづくり団体等の民間事業者・NPO法人等

【補助対象経費】 地域交通分野におけるモビリティ人材の育成に関する取組実施経費

【補助率・上限額】 定額（上限3千万円）

※「日本版MaaS推進・支援事業」については、令和6年4月以降に別途公募します。

上記1及び2の応募にあたっては、  
 実施地域の自治体等から推薦を得て  
 いることを要件とします。

募集期間  
 (1次公募)

令和6年2月27日～4月5日16:00

※4月下旬以降、2次公募を予定

問合せ先  
 事務局（パンフィックコンサルタンツ株式会社）  
 各地方運輸局交通政策部交通企画課 等

応募方法の詳細・問合せ先は特設ウェブサイトへ！

採択審査のポイント等は「公募要領」をご確認ください。

【URL】 <https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/kyousou/>

地域交通 共創

検索

事業実施地域	共創プラットフォームの名称	事業名
埼玉県川口市	川口市内観光拠点回遊性向上・公共交通利用促進事業	川口市内観光拠点回遊性向上・公共交通利用促進事業
栃木県日光市	日光西町地域の回遊性向上に伴う観光×交通×交通実証事業共創プラットフォーム	日光西町地域の回遊性向上に伴う観光×交通×交通実証事業共創プラットフォーム
神奈川県相模原市	地域主体によるグリーンズローモビリティ運行支援プラットフォーム	地域主体によるグリーンズローモビリティを活用した身近な移動手段の確保
栃木県宇都宮市	宇都宮市EVデマンド交通共創プラットフォーム	地域内交通の電動化・脱炭素化に向けたデマンド交通の電動化ソリューションとEVデマンド交通の確立
山梨県甲斐市	甲斐市版モビリティを活用した地域交通の事業構築プロジェクト	甲斐市版モビリティを活用した地域交通の事業構築プロジェクト
神奈川県横浜市・川崎市・平塚市・杉並区	こどもみらい共創プラットフォーム	あたらしい放課後プロジェクト
千葉県流山市	流山スモールモビリティ推進プラットフォーム	域内回遊性の隔絶を克服する持続可能なモビリティイノベーションの実証
神奈川県横浜	横浜港海上交通プロジェクト	横浜～みなとみらいの観光海上交通の活性化事業
東京都港区	港区オンデマンドモビリティ実証運行協議会	オンデマンドモビリティの活用検討に向けた実証運行の実施
群馬県前橋市	介護施設送迎を介護タクシーへ委託	介護タクシーへのタクシーサービス送迎委託
茨城県行方市	なまがた地域交通共創プラットフォーム	なまがた地域交通共創プラットフォーム
千葉県香取市	香取市地域公共交通共創プラットフォーム	香取市 AI オンデマンド交通実証運行による地域公共交通再編プロジェクト
富山県魚津市	魚津市交通 DX(オンデマンド交通)実用化共創プラットフォーム	魚津市交通 DX(オンデマンド交通)実用化事業
富山県黒部市	Go トリッププロジェクト共創プラットフォーム	外出自主トレ・ニンギョウラム「Go トレ」・ブラッシーアップ PJ-1
新潟県上越市	上越市・上越市ハイヤー協会、NPO 法人三和区振興会	上越市三和区デマンドタクシー運行事業
石川県七尾市	能登島地域交通プロジェクト	能登島地域デマンド交通プロジェクト
富山県南砺市	Go トレ@さくみつ共創プラットフォーム	新しい福祉サービス「Go トレ@さくみつ」開発 PJ-1
新潟県加茂市	加茂市地域公共交通共創事業推進プラットフォーム	中山間地域での福祉×交通×介護予防-こども・子育て世代に優しい公共交通へのリ・デザイン事業
長野県中野市	中野市地域公共交通共創プラットフォーム	中野市 AI オンデマンド交通実証運行「ふれ AI タクシー」
石川県小松市	小松市公共交通共創プラットフォーム	小松市ライドシェア・公共交通再編プロジェクト
富山県立山町	芦峰寺線「リ・デザイン」共創プラットフォーム	芦峰寺線デジタル活用「リ・デザイン」実証事業
長野県山ノ内町	山ノ内町 MeaS 検討会	志賀高原を中心とした交通再編事業
長野県辰野町	辰野町共創プラットフォーム	住み続けたいまち「辰野町」に向けた「交通×医療・商業・関係人口」の共創プロジェクト
新潟県見附市	夜間 AI オンデマンド乗合タクシー実証運行実施協議会	地域経済の回復支援を目的とする夜間用 AI オンデマンド乗合タクシーの実証運行事業
富山県射水市	射水市公共交通共創プラットフォーム	コミュニティバス置換型 AI オンデマンドバス「のーと射水」実証運行
長野県東御市	東御まると共創プラットフォーム	介護タクシー事業の新設と運行実証実験

事業実施地域	共創プラットフォームの名称	事業名
富山県朝日町	朝日町公共交通デジタル化実証プラットフォーム	朝日町公共交通デジタル化実証事業
石川県津幡町	のーと津幡 教育・福祉・まちづくり共創プラットフォーム	のーと津幡による教育・福祉・まちづくり共創事業
石川県金沢市	金沢市地産地消の再生可能エネルギーによる公共交通脱炭素化推進プラットフォーム	金沢市地産地消の再生可能エネルギーによる公共交通脱炭素化事業
長野県塩尻市	塩尻市片丘エリア実証共創プラットフォーム	塩尻市片丘エリア AI 活用型オンデマンドバス実証運行事業
石川県輪島市	わじま次世代交通ネットワーク協議会	交通でつなぐ被災地の地域コミュニティ
新潟県三条市	三条市地域公共交通協議会	新潟市下地域における公共交通再編事業
富山県南砺市	南砺市公共交通共創プラットフォーム	南砺市公共交通共創プロジェクト
石川県能登町	能登町デマンドタクシー共創プラットフォーム	被災地の交通ニーズ把握による復興促進実証事業
福井県福井市・鯖江市・越前市	福井鉄道福武線活性化連携協議会	北陸新幹線福井敦賀開業にともなう地域観光・まちなか交通再生事業
静岡県藤枝市	藤枝市交通×まちづくり共創プラットフォーム	藤枝市地域交通共創モデル実証プロジェクト
三重県多気町・明和町	多気町×明和町デマンド交通広域連携プロジェクト	多気町×明和町デマンド交通広域連携プロジェクト
静岡県藤枝市	ふじえだまちなか居住機能向上共創プロジェクト推進分科会	ふじえだまちなか居住機能向上共創プロジェクト
静岡県吉田町・牧之原市	吉田町地域公共交通協議会	“ざっぴ”カーよじだの活用による、子ども高齢者が“お出かけ”しやすい移動環境づくり
三重県四日市市	河原田地区 AI デマンド交通共創プラットフォーム	河原田地区 AI デマンド交通実証運行事業
静岡県湖西市	湖西市版持続可能な交通確保のための共創プラットフォーム	湖西市版共創による新たな移動サービスの提供事業
静岡県浜松市	春野通院支援プラットフォーム	交通空白地域有償運送通院支援事業
愛知県刈谷市	刈谷子ども未来共創プラットフォーム	刈谷放課後子育て MaaS プロジェクト
愛知県高浜市	高浜市 AI オンデマンドバスまちづくり共創プラットフォーム	市民・事業者と共に創り上げる「誰一人取り残さない」移動手段の確保と高齢者施策等との連携を促進する AI オンデマンドバス運行事業
静岡県熱海市	熱海次世代観光・地域交通プラットフォーム	熱海次世代地域交通基盤構築事業(まめっこ号実証事業二期)
静岡県沼津市	沼津市夜間乗合タクシー実証運行共創プラットフォーム	沼津市夜間乗合タクシー実証運行事業
静岡県島田市	島田市習い事応援プロジェクト	他分野共創 AI オンデマンド配車システム導入による習い事応援タクシー
愛知県常滑市	とこなめサステイナブル公共交通推進プラットフォーム	2024 年度とこなめサステイナブル共創型オンデマンド交通実証事業
静岡県富士市	ふし MaaS 推進協議会	新富士駅・富士駅間接続のシームレス化に係る自動運転バス実証運行
三重県津市・伊勢市・鳥羽市	中部国際空港と伊勢・鳥羽地区を DX で繋ぐ多頻度小型交通連携事業者の連携プラットフォーム	中部国際空港と伊勢・鳥羽地区を DX で繋ぐ多頻度小型交通連携事業者
三重県明和町	めいわ地域交通共創プラットフォーム	共創による持続可能な地域交通再構築事業
大阪府交野市	交野市北部巡回バス公民連携プラットフォーム	交野市北部巡回バス公民連携プラットフォーム

# 広報 加茂

9

NO.819  
2024

## わくわく! かもし魅力化通信

第3回目は公共交通の美証実験につ  
いて紹介します。



かもんバス・かもんタフシーで、親子の笑顔がもっと広がる!

8月28日 乳幼児あそびの広場

### ◆主な内容

- わくわく! かもし魅力化通信……………②③
- 秋の全国交通安全運動……………④
- 医療機関の適切な受診のお願い……………⑤
- 水道水の水質検査結果……………⑥
- ニューストビックス……………⑦⑧
- お知らせ……………⑨⑬
- 県立加茂病院コラム 加茂養生訓⑥……………⑱
- 暮らしのカレンダー……………⑱



「ずっと / いつか加茂市に住みたい」「子育て・教育といえば加茂市」  
そんな風に思ってもらえるような魅力あふれる取組をシリーズで紹介します。

# かもし 魅力化通信 Vol.3

かもんバス・かもんタクシーが

## 子ども・子育て世代に優しい公共交通 生まれ変わります!

国の補助金(令和6年度「共創・MaaS 実証プロジェクト」)を活用して、「子ども自身が公共交通に親し  
みを持って利用する」「子どもだけで安心して公共交通を利用できる」環境を整備し、子どもの送迎を公共  
交通が担うことで、忙しい子育て世代の負担軽減に繋げる目的で実証実験を行います。また、次の世代を  
担う子ども達にもたくさん公共交通を利用してもらいたいと考えています。

子ども・子育て世代のみなさまのご利用をお待ちしています!

公共交通時刻表



### 1 公共交通が 忙しい子育て世代など 誰にでも使いやすくなります!

事業① かもんタクシーの  
Web予約フォームを改善し、  
目的地を選びやすくなります!

事業② 乗車券(回数券・定期券)の  
デジタル化で、購入・支払いが  
スムーズに!



### 2 公共交通を使って 家族でお出かけしたくなります!

事業③ 子育て世代の運賃割引で  
家族でお出かけしやすく!

大人運賃が  
半額に!

中学生以下は無料  
(※事業⑥参照)になります!



事業④ 美人の湯、商店街への  
おでかけ促進



事業⑤ 加茂市商店街で  
かもんバス乗り放題!

商店街を  
ラクラク  
移動!



### 3 子どもの公共交通利用を促進し、 送迎の負担を軽減できます!

事業① かもんタクシーの  
乗車時お知らせメールで  
子どもひとりでの  
利用も安心!



事業⑥ 小中学生は  
かもんバス乗り放題!



事業⑦ おでかもちゃんグッズで  
子どもの公共交通利用の  
きっかけに



👍  
詳細は  
左ページへ

9/15~  
実施

事業  
①

### 子ども・子育て世代に優しいかもんタクシー

1. かもんタクシーの予約が簡単になります！  
自宅や加茂市内の主な目的地をリストから探せるようになります。
2. かもんタクシー乗車時にお知らせメールが届きます！  
お子さんの乗車時にお知らせメールが届きますので、安心して送迎を任せることができます。



かもんタクシーの  
予約はこちらから



9/15~  
実施

事業  
②

### 公共交通利用券のデジタル化 (RYDE Pass)

1. かもんバス・タクシーの回数券をデジタル化することで、  
運賃の支払いが便利になります！
2. 定期券をデジタル化することで、窓口まで買いに行く必要がなくなります！



デジタルチケット  
購入はこちら  
(RYDE HP)



事業  
③

### 子育て世代の運賃割引 10月以降順次実施予定

中学生以下のお子さんがいらっしゃる世帯には、RYDEPassで  
使える公共交通回数券の半額チケットを配布します。

家族で運賃合計 700円  
家族でお得にお出かけしよう！  
200円  
になります！  
※小中学生無料(事業⑥参照)

大人 100円  
中学生 無料  
小学生 無料

事業  
④

### 家族のおでかけ促進

1. 美人の湯と公共交通のお得なチケットを販売します！ 10/1~実施  
お得に公共交通に乗れたり、美人の湯でのおでかもちゃんグッズのプレゼントを予定しています。
2. 加茂市商店街からのお帰りの乗車券をプレゼントします！ 10/1~実施  
加茂市商店街の対象店舗でお買い物をし、簡単なアンケートにご回答いただいた方には公共交通利用券(200円分)をプレゼントします。かもんバスの市内利用であれば、帰りは無料になります！
3. 加茂市内のおでかけ先で集めるスタンプラリーを開催します！ 10月以降順次実施予定  
「家族でおでかけしたくなる施設」を回ってスタンプを集めていただいた方には、おでかもちゃんグッズをプレゼント！



抽選でぬいぐるみが  
当たるかも…?



9/15~  
実施

事業  
⑤

### まちなかエスカレーター

加茂駅~五番町までのかもんバス運賃が無料になります。  
加茂市商店街を約30分に1本程度バスが走って  
いますので、ラクラク移動できます！

商店街をかもんバスでラクラク移動！

ご利用はこちら  
(RYDE HP)



9/15~  
実施

事業  
⑥

### 小中学生のかもんバス運賃無料化

小中学生には学校から全児童・生徒に無料チケットを配布します。  
これにより、中学生以下のお子さんはかもんバス運賃が無料になります！  
※市外に通学している児童・生徒の方は右記QRコードよりご申請ください。  
後日無料チケットをご自宅に郵送します。

市外通学者の  
方はこちら



事業  
⑦

### 子どもの公共交通利用の意識づくり 順次実施予定

子どもにおでかもちゃんを通して公共交通に親しみを持ってもらい、今後も公共交通に  
「乗って残して」ほしいという思いから、おでかもちゃんグッズを作成します！  
今後のイベントや学校で配布予定ですのでお楽しみに！

本実証実験の期間は、原則令和7年2月28日(金)までです。その後は実証実験の結果をもとに再検討します。

お問い合わせ 加茂市役所 環境課 TEL:0256-52-0080(内線 252)

# 未来ビジョン（素案）に対する全体会議での意見等と対応

## 資料4

番号	意見等	対応	該当ページ
1	【高澤委員】テーマカラーなど、色は統一な考え方で用いた方がよい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>表紙の楕色、まち（商店街）の赤色、みず（加茂川）の水色、みどり（加茂山）の緑色をテーマカラーとした。</li> <li>視覚的に強調すべき箇所は、テーマカラーの4色を基調とし、それ以外は原則としてグレースケールとベージュの混合色とした。</li> </ul>	全体
2	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体的な見直し作業を行うなかで、「まちの姿（未来ビジョン）の発展イメージ」の図を追加。</li> </ul>	5
3	【木戸委員】資料に掲載されている写真は、既に公開されているものなのか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の広報等で使用した写真が中心で、それ以外は出典元の了解を確認（「暫定」は確認中）。顔が映っている写真は「ぼかし」処理を実施。</li> </ul>	7～9
4	【杉浦委員】加茂川の利用者について、最も主張したいことは何か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の年代の違いに着目し、平日・休日ともに20・30代の滞在者が少ない状況である旨に記載を修正（記載内容を絞り込み）。</li> </ul>	12
5	【杉浦委員】課題のところ：若者の興味・関心が薄いことが問題ではなく、若者の興味・関心を惹くまちなっていかないことが問題であると思う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「若者の興味・関心を惹くまちなっていかない」に修正。</li> </ul>	14
6	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体的な見直し作業を行うなかで、まち（商店街）、みず（加茂川）、みどり（加茂山）の断面イメージを整え。</li> </ul>	15・16
7	【古谷委員】小さな子供がいるファミリーの過ごし方、シニア夫婦の過ごし方、若者の過ごし方などのイメージがあると、より伝わりやすいと感じた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>まち（商店街）、みず（加茂川）、みどり（加茂山）のイメージスケッチについて、まちは「若者」、みずは「ファミリー」、みどりは「シニア」に焦点を当てた絵に修正。</li> </ul>	19～21
8	【松井委員】「みどり（加茂山）」のイメージスケッチでは、カフェ以外の要素を追加できないか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な取組みに記載されている「案内サイン」や「生物の多様性（生き物）」の要素を追加。</li> </ul>	21
9	【松井委員】今のイラストは、時系列的な移動のつながりのイメージに留まっている印象を受ける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>行為や活動を生み出す契機となる「つながり」（オレンジの円）のイラストと、そこから生まれる行為・活動を分けて（吹き出し的表現）描き直した。</li> </ul>	22
10	【西村委員】推進体制の図：名前を連ねる方々がビジョンを実現してくれるものと誤解する可能性。プレイヤーとなる市民が強調されると良いと思う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>イラスト等を加えるほか、エリプスが市民・企業・団体等の「活動をサポート」することを強調したイメージ図に修正。</li> </ul>	32
11	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>参考資料の暫定ページについて、予定しているコンテンツを記載。</li> </ul>	38

※ 上表の番号のうち1、7、8、10は概要版にも反映

# まちまるごと、 みちのえき

～日常が とっておき になる～

加茂駅周辺まちなかエリア未来ビジョン  
(案)

VERSION. 01

令和6年10月  
加茂駅周辺まちなかエリアプラットフォーム

## はじめに

### ①加茂駅周辺まちなかエリア未来ビジョンの策定

- このビジョンは、商店街、加茂川、加茂山を中心とした加茂駅周辺まちなかエリアの将来像と、その実現に向けた取組み等を、エリアに関わる様々な関係者の方々と共有するために策定しました。
- 既にまちづくり・賑わいづくりの活動を行っている方々や、これから「こんな活動をやってみたい」と考えている方々と、私たちとの想いを一つにして、まちづくりに取り組んでいきたいと考えています。

### ②加茂駅周辺まちなかエリアプラットフォームにおける未来ビジョンの検討

- このビジョンは、令和4年度から検討を開始し、市内外の事業者や専門家の方との議論を重ねながら、令和6年10月に「加茂駅周辺まちなかエリアプラットフォーム」において策定されました。
- 「加茂駅周辺まちなかエリアプラットフォーム」には、商店街、商工会議所、青年会議所、新潟県、地元の大学や信用金庫、県内全域をマーケットとする金融機関や放送事業者、全国規模で事業を展開する交通・通信といったインフラ事業者、まちづくりの専門家など多種多様な主体が参画しており、今後、未来ビジョンの実現に向けた取組みを推進していきます。

### ③加茂駅周辺まちなかエリアに関わりを持つ主体との連携

- このビジョンは、今後、まちづくりの活動を実践するなかで、必要に応じて見直ししながら、バージョンアップすることを予定しており、まちづくりのプレイヤーとなる方々と「育てていくビジョン」です。
- 加茂で暮らす方、働く方、学ぶ方など様々な方々が主体となってまちづくりの活動を実践したり、あるいはエリアプラットフォームに参画するなど、このビジョンの実現に向けた取組みや連携を広げていきたいと考えています。

# 目次

1	未来ビジョンの基本的な考え方	P4
2	エリアの特性と課題	P7
3	エリアの将来像実現に向けた体系	P15
4	エリアの将来像 — コンセプト	P16
5	エリアの将来像 — ゾーン×テーマ	P18
6	将来像実現のためのポイント	P23
7	推進する具体的な取組み	P24
8	将来像の実現に向けた体制とロードマップ	P32
9	参考資料：検討の経緯	P34

## 1 未来ビジョンの基本的な考え方

### (1) 未来ビジョン策定の背景と目的

- 加茂駅周辺まちなかエリアは、加茂駅と、そこから伸びる近代化されたアーケード付き商店街を中心として、商店街と並行して流れる加茂川、地名の由来となった青海神社を祀る加茂山が近接した、コンパクトでウォーカブルな都市構造となっています。
- 加茂市総合計画（令和3年度策定）では、「人が集い、賑わいと活力があふれ稼ぐ力と雇用を生み出すまち」を目指すための方策として加茂駅周辺まちなかエリアの市街地活性化が明示されており、加茂市全体の活力をけん引していく最も重要な拠点として位置づけられるべきエリアです。
- 一方、学生を中心とした駅利用者が非常に多いにも関わらず滞留や回遊が生まれにくく、賑わいや消費活動の創出に結びついていないことが課題であり、エリアの潜在的な魅力が活かされていない状況にあります。
- エリア内での様々な主体の取組みが個々にはなく、それらの連携によるエリアの価値向上が必要です。

エリア内の課題解決や賑わい創出の取組みを戦略的・継続的に推進するため、官民の垣根を超えた様々な主体が参画する枠組み（**エリアプラットフォーム**）を構築するとともに、官民を問わない様々な主体が将来像を共有し、その実現に向け官民連携で取り組む「**未来ビジョン**」を策定しました。

■加茂駅周辺まちなかエリアの位置



# 1 未来ビジョンの基本的な考え方

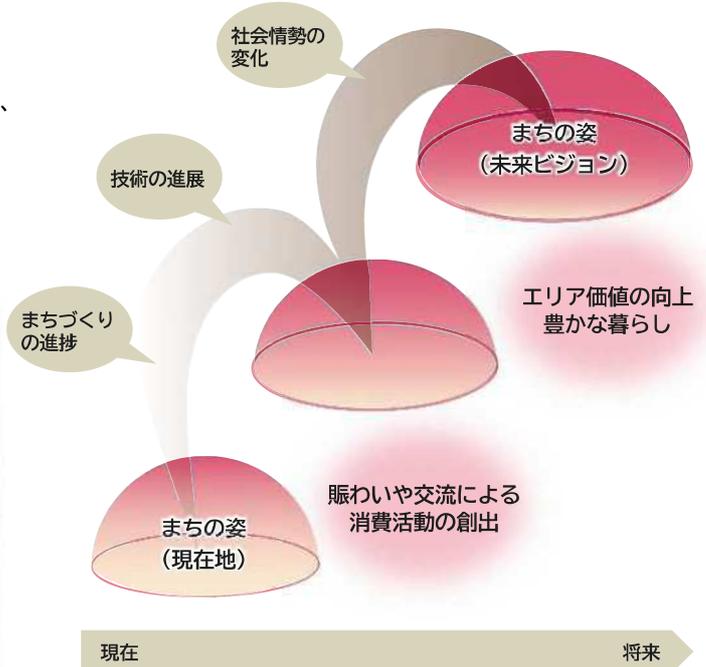
## (2) 未来ビジョンの性格

- 未来ビジョンは、加茂駅周辺まちなかエリアに関わる多様な主体がまちづくりの方向性を共有するとともに、相互連携を促すための指針となるものです。
- 未来ビジョンの実現に向けては、エリアプラットフォームが方向性の舵取りを担い、多様な主体による相互連携を促すことで、持続的に賑わいと活力あふれるまちづくりを推進します。
- 未来ビジョンは、まちづくりの進捗や社会情勢の変化、技術の進展などを踏まえて、これからもバージョンアップさせていきます。

■加茂駅周辺まちなかエリアプラットフォーム  
(令和6年3月13日設立)



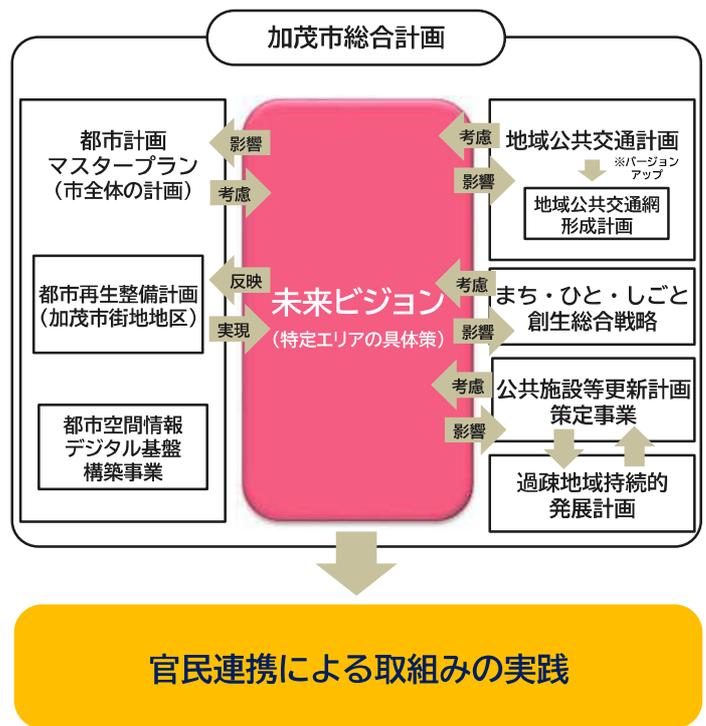
■まちの姿（未来ビジョン）の発展イメージ



# 1 未来ビジョンの基本的な考え方

## (3) 未来ビジョンの位置づけ

- 未来ビジョンは、官民が共有する将来の目標として、加茂駅周辺という特定のエリアにおける最も上位となる計画として位置づけられます。
- 加茂市では、総合計画をはじめ、都市計画マスタープラン、地域公共交通計画、まち・ひと・しごと創生総合戦略、個別の公共施設等更新計画と未来ビジョンとの整合を図り、庁内の所管部局等を横断した取組みを推進します。



## 2 エリアの特性と課題

### (1) エリアのポテンシャル

- 加茂駅周辺まちなかエリアのポテンシャルを「歩いて暮らせる」、「自然と歴史にひたれる」、「季節の楽しみ」の3つの項目で示します。



### 歩いて暮らせるまち

商店街は全天候型のウォークブルな空間で、日々の買い物を支えるスーパーのほか、飲食等の個性的な店舗も立地

## 2 エリアの特性と課題



### 自然と歴史にひたれるまち

加茂駅周辺のまちなかでありながらも、加茂市の歴史と自然にひたれる空間が存在



## 2 エリアの特性と課題



4月 雪椿まつり



8月 越後加茂川夏まつり



10月 商店街大通り秋まつり

加茂穀町商店街振興組合FACE  
BOOKの転用  
[https://www.facebook.com/kokuchoushoutengai/photos/pb.100057621182015\\_-2207520000/337343740373501/?type=3](https://www.facebook.com/kokuchoushoutengai/photos/pb.100057621182015_-2207520000/337343740373501/?type=3)



5月 青海神社春季例大祭

### 季節の楽しみがあるまち

季節ごとに歴史と伝統を持つ祭や、賑わいを楽しめるイベントが開催



暫定



季節ごとの開催 カモナイトバザール



5月 加茂川を泳ぐ鯉のぼり



8月 青海神社秋季例大祭

## 2 エリアの特性と課題

### (2) エリアの現状と、社会情勢の変化や新たなニーズ

- 加茂駅周辺まちなかエリアでは、高齢化・人口減少、空き店舗など既存ストックの遊休化が進行しており、現状の傾向をそのままにすると、ますますエリアの賑わいや価値の低下を引き起こす悪循環に陥る恐れがあります。
- 商店街、加茂川、加茂山の3つのアセット（資産）を強みとして活かしながら、コロナ禍での社会変容や移住など、時代の変化をチャンスと捉えることが重要です。

#### エリアの現状

##### 強み

- コンパクトで歩きやすい環境
- ゆったり、まったりとした、ホッとできる環境
- 駅利用者数が多い（高校生等若者）
- 歴史的文化財が点在
- 商店街には個性的な店舗がある
- スーパーや医療等の生活を支える施設が集積
- 魅力的で癒しのオープンスペースである加茂川、加茂山



##### 弱み

- 滞留や回遊が生まれにくく、賑わいや消費活動に結びつかない
- 観光客のピーク時に、それを活かす環境ができていない
- 商店街空間らしいデザイン配慮不足
- バリアフリー化できてない駅舎
- 加茂山公園は家族のお出かけ場として魅力不足
- 子ども連れで過ごせる場が不足
- 駐車場が使いにくい（狭い）、わかりにくい



#### 社会情勢の変化や新たなニーズ

##### 機会

- コロナ禍での社会変容（屋外利用価値向上、リモートワークなど働き方の多様化、社会のデジタル化）
- 移住、二拠点居住トレンド
- 地方創生ブーム
- インバウンド、国内観光需要の復活
- 地域の日常を楽しむ「暮らし観光」
- 高齢化を背景とした歩いて暮らせるまちづくりへのニーズ



##### 脅威

- 高齢化・人口減少、世帯減少  
→店舗廃業リスク  
→空き家・空き店舗・空きスペースなど  
既存ストックの遊休化
- 単身高齢世帯（孤独な高齢者）の増加
- 若い世代の転出超過の継続
- 施設の老朽化
- 小売業の販売方法変化（高齢店主ではECやDX対応が難しい）
- オーバーツーリズムへの懸念

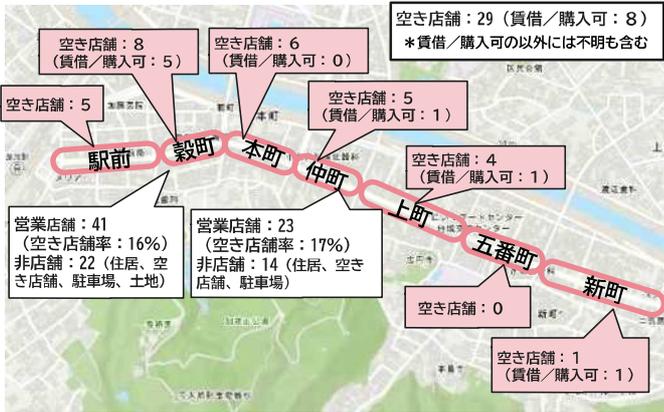


## 2 エリアの特性と課題

### (参考1) 商店街の空き店舗の状況

商店街の空き店舗は29店舗（令和5年4月1日現在）あり、このうち所有者が、賃借又は売却してもよいと考えている店舗は8店舗にとどまっています。商店街の店舗は、住宅と一体となっている構造が多く、空き店舗の活用が進まない要因の一つです。

#### ■商店街の空き店舗の状況

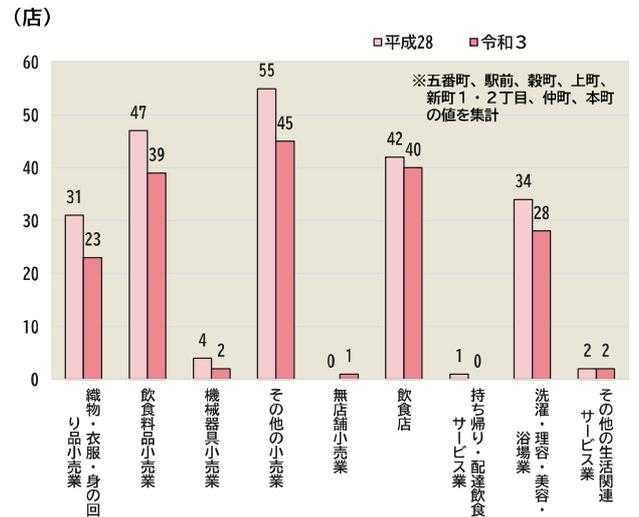


出典：「商店街空き店舗調査」（令和5年4月1日）を基に作成

### (参考2) 商店街の業種構成の変化

過去5年間で飲食店は2店舗の減少に留まっていますが、日用品である飲食料品小売業、買い回り品である織物・衣服・身の回り品小売業は8店舗減少しています。

#### ■まちなかエリアの商業・サービス関連の業種構成



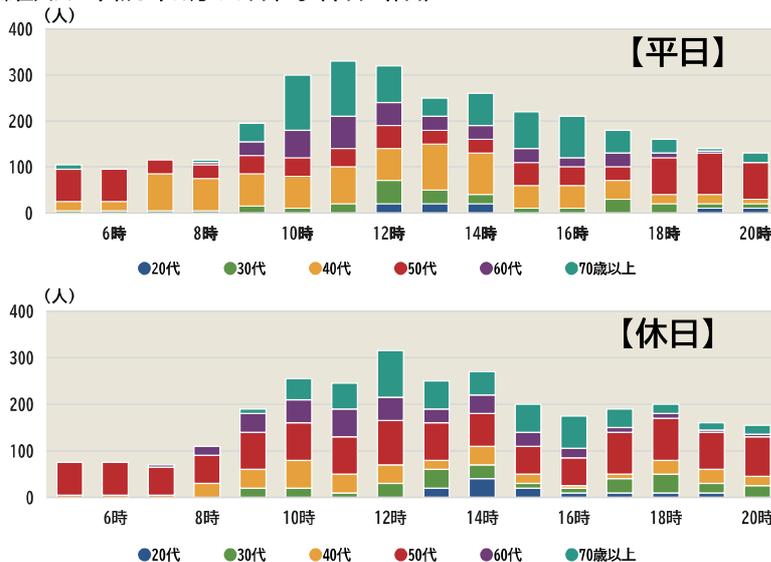
出典：総務省「経済センサス」を基に作成

## 2 エリアの特性と課題

### (参考3) 加茂川の滞在人口

携帯電話位置情報を活用した加茂川の滞在人口（令和5年10月の1か月間）を見ると、平日・休日ともに20・30代の滞在者は少ない状況です。

#### ■滞在人口：令和5年10月の1日平均（平日・休日）



データ提供：KDDI・技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer」  
※auスマートフォンユーザーのうち個別同意を得たユーザーを対象に、個人を特定できない処理を行って集計しております。



## 2 エリアの特性と課題

### (参考4) 加茂山公園の滞在人口

携帯電話位置情報を活用した加茂山公園の滞在人口（令和5年10月の1か月間）を見ると、1日利用者は720人／日前後で平日に比べ休日の利用者が少ない状況です。また、加茂市体育館周辺～青海神社・リス園が滞在の中心で、年齢別では約半数が60代以上となっています。

■加茂山公園の滞在人口（令和5年10月の1か月間）



■加茂山公園の年齢別滞在人口（日平均）



データ提供：KDDI・技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer」  
 ※auスマートフォンユーザーのうち個別同意を得たユーザーを対象に、個人を特定できない処理を行って集計しております。

## 2 エリアの特性と課題

### (3) エリアの課題

● 加茂駅周辺まちなかエリアで解決すべき課題を「賑わい」、「憩い・潤い」、「便利・快適」の切り口で整理します。

賑わい	①若者の興味・関心を惹くまちとなっていない ▶商店街の利用者は高齢者中心で、加茂駅を利用する若者（高校生等）は多いものの、まちなかを素通り
	②日常の人通りが少ない ▶商店街、加茂川、加茂山公園はイベント時に集客はあるが、日常の人通りが少ない
	③回遊空間の奥行に乏しい ▶商店街は単調な動線で、加茂川の自然、加茂山の自然と歴史、歴史を感じる谷通りなどの地域資源が回遊に活かされていない
憩い・潤い	④親子や若者の憩いの場が少ない ▶商店街、加茂川、加茂山には、家族連れや若い世代にとって、心地よい居場所や滞在空間が少ない
	⑤歩行環境が活かされていない ▶幅の広い歩道やアーケードがあり、誰もが安心して歩ける環境があるものの、それが活かされていない
便利・快適	⑥住民のための店舗が減少している ▶空き店舗の増加、店舗の住宅への転換により、日用品を買い求める店舗が減少
	⑦バスの利用者が少ない ▶まちなかへのお出かけに身近な公共交通であるバスが十分に活用されていない
	⑧駐車場が使いにくい ▶公共駐車場は普段は量的に充足しているが、ピーク時に需要が集中した場合の駐車量が確保されておらず、子ども連れ家族にとって使いにくい
	⑨もてなしの雰囲気乏しい ▶まちなかの外に住んでいる人にとって、楽しみ方の案内や紹介、もてなしが不足

### 3 エリアの将来像実現に向けた体系

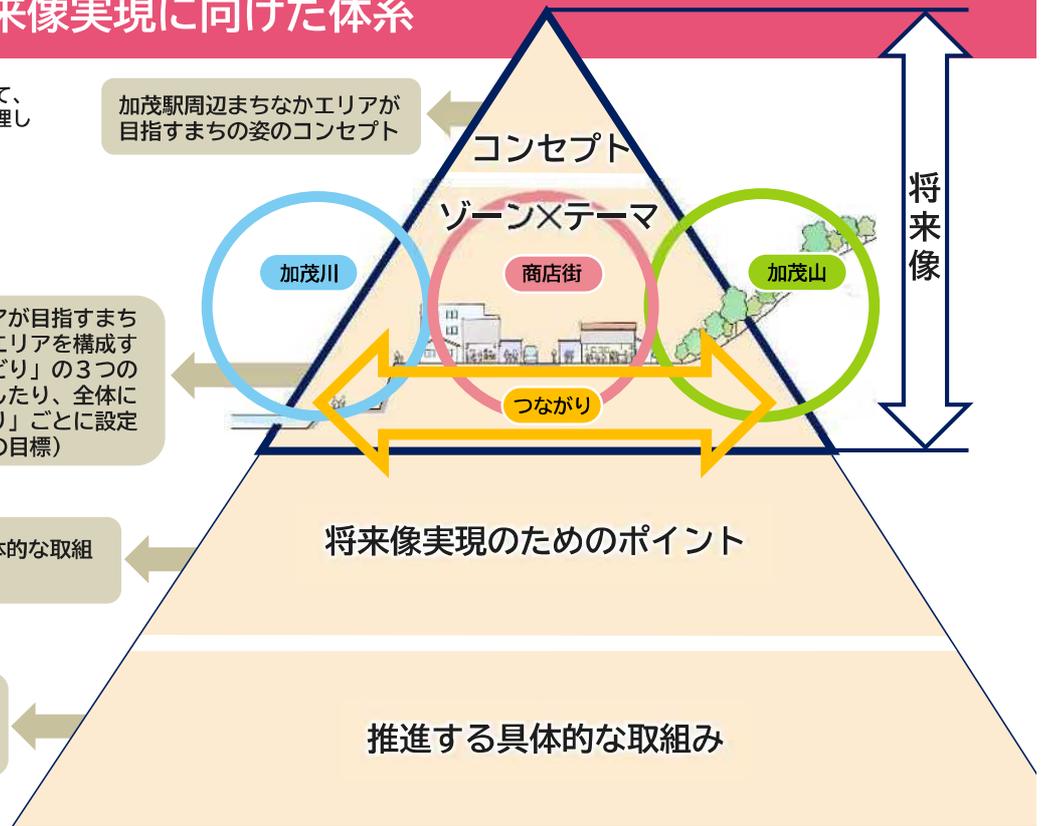
- エリアの将来像の実現に向けて、以下の4つの階層で体系を整理しました。

- ① 将来像（コンセプト）
- ② 将来像（ゾーン×テーマ）
- ③ 将来像実現のためのポイント
- ④ 推進する具体的な取組み

加茂駅周辺まちなかエリアが目指すまちの姿を深掘りするため、エリアを構成する「まち」「みず」「みどり」の3つのゾーンとそれらを一体にしたり、全体に関わったりする「つながり」ごとに設定するテーマ（まちづくりの目標）

将来像を実現する上で具体的な取組みを選択するための基準

実現に向けたポイントを基準に選択された具体的な取組み



### 4 エリアの将来像 — コンセプト

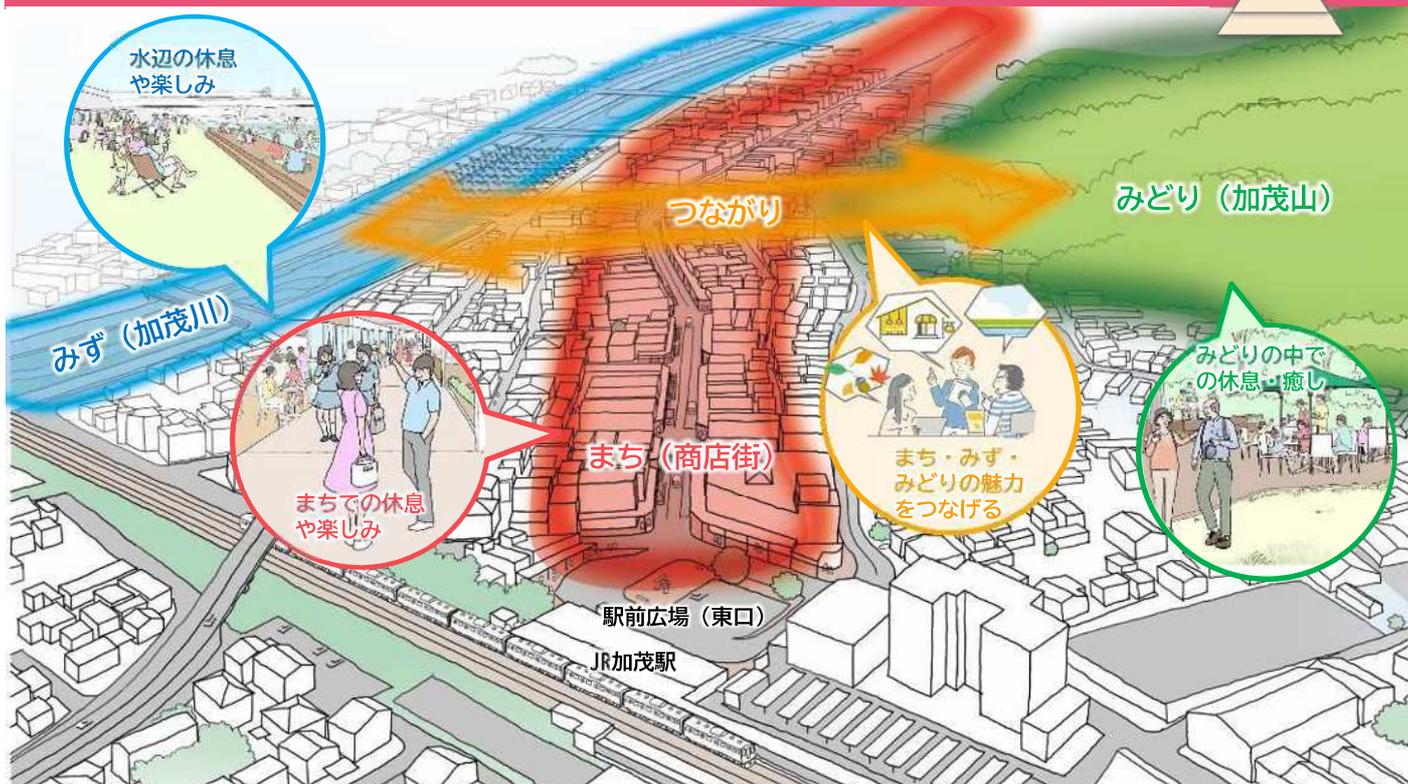
まちまるごと、  
みちのえき

～日常がとっておきになる～

- ながいきストリートを中心に飲食やお買い物を楽しめるほか、加茂山や加茂川を含めたエリア全体における【憩い・休息機能】、交流を生み、日常生活や地域コミュニティを支える【地域の連携機能】、加茂の魅力ymarごと体感・体験できる【情報発信機能】が詰まっている姿から、加茂駅周辺まちなかエリアをまるごと1つの「みちのえき」として位置づけます。
- 「みちのえき」には、「未知」や「益」という意味も込めています。まだ知らない加茂の魅力があること、新たな人との出会いを秘めていること、商店街やいろいろな活動が起こる水辺、悠久の時を感じる神社や公園など、加茂のまちなかに詰まっているたくさんの可能性を花開かせ、賑わいや交流、消費といった利益や価値を生み出していくことを目指します。これにより、このまちで過ごす、暮らす、働く時間を、「とっておきの日常」に仕立てていきます。



#### 4 エリアの将来像 — コンセプト



17

#### 5 エリアの将来像 — ゾーン×テーマ



まち(商店街)

ストリート  
ワンデイ STORE×EAT

みず(加茂川)

みな(も)のリビング

みどり(加茂山)

うらやまテラス

つながり

加茂市愛の醸し合い

## 5 エリアの将来像 — ゾーン×テーマ



まち みず みどり つながり

### まち(商店街)

ストリート

#### ◆ワンデイ STORE×EAT

これまで長く続いてきた商店街の持つ温かさや心地よさは受け継ぎながら、新たな価値観に合ったお店、ニーズをとらえた食べ物など、沢山の「いいね！」が詰まったストリート空間が、地域をめぐる元気の源となって豊かなまちの魅力を伝えます。

【ワンデイに込められた3つの願い】

- ① (過去の) ある日：ながいきストリートとしてこれまで続けてきた、交流を生み出す店舗の価値を大切に受け継ぐ
- ② (今の) 1日：訪れた人がこのエリアの中で1日を楽しく過ごすことができる
- ③ (未来の) ある日：これからもとっておきの日常が続いていく(※私たちの意志や努力で実現させるもの)

ストリート

【STORE×EATに込められた想い】

(店舗) (食べ物)

気軽に立ち寄れる「STORE(店舗)」と美味しい「EAT(食べ物)」が集まることで、1日中楽しめる「STREET(商店街)」に人が集う



19

## 5 エリアの将来像 — ゾーン×テーマ



まち みず みどり つながり

### みず(加茂川)

#### ◆みな(も)のリビング

水辺の多様な使い方が共存でき、お気に入りの過ごし方がシェアできる「皆のリビング」として、誰にとっても居心地の良い場所であるとともに、四季の変化や新たな人との出会い・交流が生まれる「水面のリビング」として楽しさがあふれます。

【「みな(も)」に込められた想い】

- ・みなも(水面)：河川敷を舞台に、鯉のぼりをはじめとして四季折々の水面に映しだされる心に残る風景やアクティビティを楽しめる場所
- ・みな(皆の)：多様な使い方が共存でき、それぞれの感じる楽しさや心地良さをシェアすることで、新たな出会い・交流が生まれる場所

【「リビング」に込められた想い】

- ・居心地の良い日常空間として、開放感にあふれたお気に入りの過ごし方ができる場所



20



みどり(加茂山)

◆うらやまテラス

自然と歴史が一体となって風格を感じさせ、このまち自慢のおもてなし空間であるうらやまは、まちなかにいることを思わず忘れてしまうような没入体験の機会が充実していくことで、訪れた人のココロを癒し、カラダに潤いをもたらします。

【「うらやま」に込められた想い】

・裏山／羨ま(しい)：JR加茂駅から徒歩5分という、他の地域ではまず見られない、こんなにも豊かな自然あふれる里山が中心市街地に密接した環境は、加茂にこのような場所があることが「羨ましい」と思われるようなおもてなし(表なし≒裏)の空間

【「テラス」に込められた想い】

・テラス／照らす：水面のリビングに対して、自然が形づくったテラスは、青海神社を含む歴史や文化と相まって、木々の合間から差し込む光が訪れた人たちの心と体を照らし、癒しや潤いをもたらす空間



つながり

◆加茂市愛の醸し合い

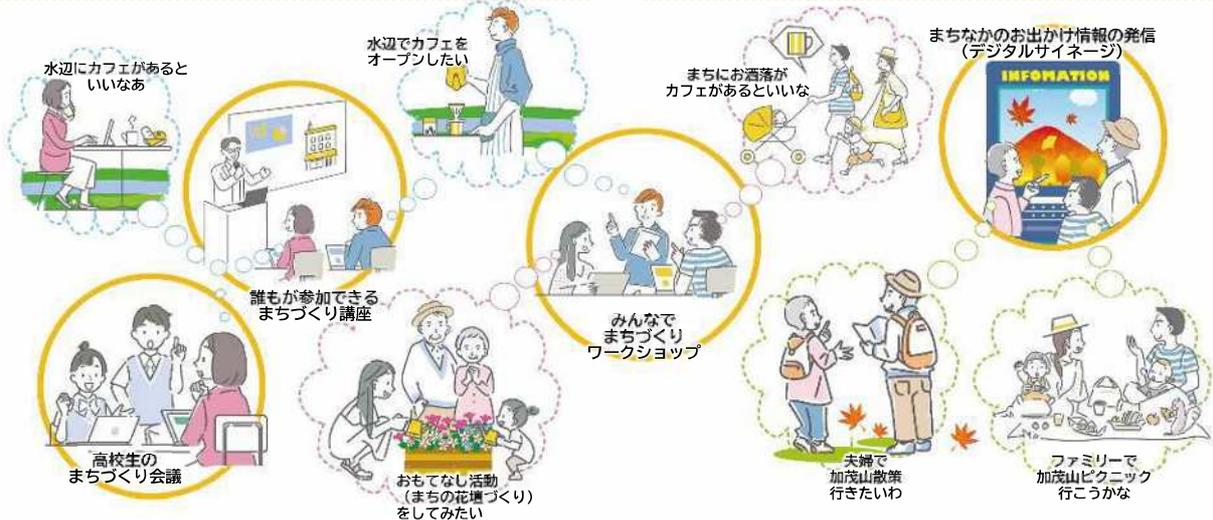
まち、みず、みどりの魅力を市民が愛着を持って磨き上げ、一体感を醸成するような仕組み／仕掛けづくりを進めることで、ついお出かけしたくなる、選ばれる場所へと加茂のまちなかを仕立て上げ、ひと・もの・ことの好循環を創出します。

【「加茂市愛」に込められた想い】

・まち、みず、みどりへの愛着(シビックプライド)を深める

【「醸し合い」に込められた想い】

・まち、みず、みどりの間のつながりが一体感を醸成する



## 6 将来像実現のためのポイント



- 将来像である「まちまるごと、みちのえき」を実現する上で具体的な取組みを選択する基準となるポイントを示します。
- また、「まちまるごと、みちのえき」の3つの機能のうち、各ポイントがどの機能の実現に結びついているのかを示します。

将来像実現のためのポイント	「まちまるごと、みちのえき」の機能	憩い・休息機能	加茂の情報発信機能	地域の連携機能
まち (商店街)	加茂のショーケースとなる飲食店や物販店や暮らしを支える生活サービスの拡充		●	●
	日常的な買い物のしやすさの向上			●
	人がいる日常風景を生み出す居場所づくり	●		●
	人中心の歩きやすいまちづくり			●
みず (加茂川)	四季を通じた訪問目的の充実		●	●
	利活用を促す環境の整備		●	●
	多様な利用シーンが共存できるような利用区域の設定	●		●
	滞在環境の充実	●		
みどり (加茂山)	おもてなし、おでむかえなどホスピタリティの感じられる景観づくり		●	
	わかりやすい案内サインや情報発信などの充実		●	
	歴史文化的な環境と調和した憩いや竹み環境の充実	●		
	生物の多様性や自然体験などの環境学習の場や機会の充実			●
つながり	まち、みず、みどりをつなぐ仕掛けづくり		●	●
	おもてなし空間づくり活動の促進	●	●	
	若者を中心に、チャレンジする場や活躍の機会を提供する仕組みづくり		●	●
	まちづくりの新たな担い手を増やす取組みの充実			●

23

## 7 推進する具体的な取組み



### まち(商店街)

ゾーン × テーマ  
ワンデイ  
ストリート  
STORE × EAT



#### POINT 01 加茂のショーケースとなる飲食店や物販店、暮らしを支える生活サービスの拡充

- 加茂の特色や特長を生かした飲食店や物販店が増えるとともに、市民の日々の暮らしを支える機能・サービスが充実したまちが息づいています。
- 起業や創業のしやすさがイメージとして定着し、まちの新たな担い手が生まれ続け、人が訪れたい機会がまち中に広がっています。

##### ◆推進する主な取組み

- ・ 飲食店や物販店等の創業サポート
- ・ 空き店舗を活用した新規出店サポート
- ・ 地域の特色や特長を生かしたまちデザインへと誘導するための仕組みづくり など

#### POINT 02 日常的な買い物のしやすさの向上

- 使いやすい、わかりやすい交通環境が形づくられ、まちやお店の情報に触れる機会が店先とネットの双方で充実していることにより、誰でも気軽に商店街に出かけて買い物を楽しむことができるようになっています。

##### ◆推進する主な取組み

- ・ かもんバスの利便性向上 (EX: 中心市街地内での乗降無料化等)
- ・ まちや店舗の魅力を伝えるための仕組みづくり
- ・ まちなかの未利用空間を活用した臨時駐車場の設置 など (民地も含めたまちの資産の有効活用を促進する仕組みづくり)

## 7 推進する具体的な取組み

### POINT 03 人がいる日常風景を生み出す居場所づくり

- 公共か民間かを問わず、まちの資産である遊休施設や未利用地の有効活用が進み、心地良い憩いの場や休息の場がまちに増え、人と人、人とまちをつないで、まち全体が身近な居場所となって誰かの話し声や笑い声であふれています。

#### ◆推進する主な取組み

- ・ 多目的広場を人中心に利用できる交流スペース等として日常的に活用
- ・ 民地の空き地に対する暫定利用(期間限定出店や休憩スペースの設置)の促進
- ・ 空き店舗の活用等子どもや若者が主体となって利用できる集いの場の充実
- ・ 施設の更新の機会を捉えた多様な主体の連携による多世代交流スペースの整備 など

### POINT 04 人中心の歩きやすいまちづくり

- 雨が続く日でも、真夏の暑い日でも、車通りを気にすることなく歩くことができ、疲れたら気軽にひと休みできる心地よいアーケード空間がしっかりと保たれていて、歩きたくなるまちなかをつくりだしています。

#### ◆推進する主な取組み

- ・ 季節や曜日、時間帯を考慮した道路空間における歩行者利用区域の拡大
- ・ 健康づくりに取り組む歩行者が店舗利用することへの付加価値の向上
- ・ 道路空間を活用した健康づくりや身体活動機会の創出
- ・ 店先におけるベンチの設置といった歩行者への心遣いの充実 など



25

## 7 推進する具体的な取組み



### みず(加茂川)

ゾーン × テーマ

みな(も)のリビング



26

### POINT 01 四季を通した訪問目的の充実

- 加茂川を泳ぐこいのぼりや越後加茂川夏まつりといった、加茂川に行くきっかけとなるようなイベントが増え、加茂川に行くことを楽しむ時期が一年を通して定期的に訪れます。賑わいへの期待感がある日々が増え、市民の足が自然と水辺に向かうようになっています。

#### ◆推進する主な取組み

- ・ 季節感を生かした新たなイベントの実施
- ・ イベント時におけるキッチンカー等飲食サービスの提供
- ・ 水辺に親しみながら飲食が楽しめる川床の設置 など

### POINT 02 利活用を促す環境の整備

- 加茂川の河川敷は誰でも使いやすい緑地としてルールが守られ、個人にとっても団体にとっても歩く、走る、遊ぶ、憩うといった様々な活動が行われる空間となっています。
- 河川空間のルールは誰もがわかりやすく学べるものとして、子どもから大人まで老若男女を問わず知っていて、皆が互いを尊重しながら伝え合うことができます。

#### ◆推進する主な取組み

- ・ 河川敷を活用した水に親しめる緑地としての整備・維持管理の実施
- ・ 管理用通路を活用したウォーキングコースの整備・維持管理の実施
- ・ 分かりやすい河川の利活用ルールの策定や周知、学校教育との連携 など

## 7 推進する具体的な取組み

### POINT 03 多様な利用シーンが共存できるような利用区域の設定

- 使い方の特性に応じた緩やかなゾーニングを設けることで、大勢でアクティブに過ごしたい人も、落ち着いて静かに過ごしたい人も、誰もがルールに則って、河川空間という広いオープンスペースを生かしたその人なりの過ごし方が楽しめる場所になっています。

#### ◆推進する主な取組み

- ・利用特性や公園設備、周辺環境等に応じた河川利用のゾーニング
- ・子どもや若者たちがスポーツや水遊びを楽しむことができる環境・風土づくり
- ・バーベキューやデイキャンプ等余暇を楽しく過ごすことができる環境・風土づくり など

### POINT 04 滞在環境の充実

- 花壇やベンチの手入れがきちんと行き届いて、人々が河川敷に滞在するその姿は、まるで自宅のリビングで過ごすような心地よい日常の風景の一部になっています。

#### ◆推進する主な取組み

- ・ベンチや日よけの設置(動かすことができるもの)
- ・景観に配慮した休憩設備(トイレ・シャワー等)の設置
- ・花壇や芝生の整備・維持管理による美観の向上 など



27

## 7 推進する具体的な取組み

### みどり(加茂山)

ゾーン × テーマ

うらやまテラス



### POINT 01 おもてなし、おでむかえなどホスピタリティの感じられる景観づくり

- ローラースライダーやリス、青海神社など市外から加茂を訪れる人々の目的地として、平日は高齢者、休日は家族連れで賑わう加茂山は、四季を通じて人々の心を癒し、潤す魅力的な空間・景観であふれています。

#### ◆推進する主な取組み

- ・自然的景観と歴史的景観の保全によるおもてなし空間の形成
- ・宮大門から青海神社の参道につながる道路の奥行きを生かした空間の演出
- ・ツアーガイドの育成によるホスピタリティの向上 など

### POINT 02 わかりやすい案内サインや情報発信などの充実

- ユニバーサルデザインや景観に配慮した案内・サインが充実し、公園の情報を分かりやすく伝えられることで、はじめて加茂山を訪れた人でも公園の様々な魅力を楽しむことができるようになっています。

#### ◆推進する主な取組み

- ・施設の案内マップやサインをより分かりやすいものへと見直し
- ・デジタル技術(QRコード等)を活用した加茂山に関する情報発信の充実 など  
(EX: 四季の移ろいや混雑状況などを映像やマップ上で可視化)

28

## 7 推進する具体的な取組み

### POINT 03 歴史文化的な環境と調和した憩いや佇み環境の充実

- 加茂山のもつ荘厳な歴史と文化的価値を感じながら、生い茂った木々やその合間からこぼれる光が神秘的で落ち着いた雰囲気をつくりだし、その心地よい静けさの中で過ごす時間を多くの人々が楽しんでいます。

#### ◆推進する主な取組み

- ・ 民間の資金や事業者のノウハウを導入したサービスレベルの向上(EX: Park-PFI)
- ・ 歴史や自然と調和した休息スペースや便益施設の設置
- ・ ハイキングコースや加茂山古道ルートにおける休憩機能の充実 など

### POINT 04 生物の多様性や自然体験などの環境学習の場や機会の充実

- 子どもたちが、ありのままの自然の中で夢中になって遊び、体験する中で、生き物や環境の仕組み、加茂山の魅力を楽しみながら学んでいきます。

#### ◆推進する主な取組み

- ・ 自然の中で思い切り遊べるプレーパーク(冒険遊び場)の設置
- ・ ハイキングコースや加茂山古道を生かした自然探検・学習機会の提供
- ・ 森の中で宿泊や飲食、環境学習を楽しむことができる機会の提供 など



29

## 7 推進する具体的な取組み

### つながり

ゾーン × テーマ

加茂市愛の醸し合い



30

### POINT 01 まち、みず、みどりをつなぐ仕掛けづくり

- 加茂山で遊び、商店街で買い物や飲食を楽しみ、加茂川で憩うなど、1日を通してまち・みず・みどりそれぞれの魅力を感じながら、豊かな暮らしを楽しんでいます。

#### ◆推進する主な取組み

- ・ 商店街、加茂川、加茂山をめぐるような一体感のあるイベントの実施
- ・ 商店街、加茂川、加茂山を歩いてめぐりたくなるような情報発信の充実
- ・ 商店街、加茂川、加茂山を行き来しやすくなる小さな交通手段の活用 など (EX: マイクロモビリティ、グリーンスローモビリティ)

### POINT 02 おもてなし空間づくり活動の促進

- 市民が商店街、加茂川、加茂山に関わる機会が増えることで、それぞれに対する愛着(シビックプライド)が生まれ、みんなの力でその魅力を磨き上げようとする活動が盛んになっています。

#### ◆推進する主な取組み

- ・ 商店街、加茂川、加茂山を日ごろからきれいに使う意識の向上
- ・ 子どもや学生、地域住民など多様な主体が協力した美化清掃活動の実施
- ・ おもてなしマインドの向上による観光客や来街者への温かい声掛けや案内の実践 など

## 8 推進する具体的な取組み

### POINT 03 若者を中心に、チャレンジする場や活躍の機会を提供する仕組みづくり

- 若者らしいみずみずしい感性や新しい価値観から生まれたアイデアが実現していくことで、加茂駅周辺まちなかエリアを訪れるたびに新しい発見や感動が生まれ、次々と新たな出会いやチャンスに結びついています。

#### ◆推進する主な取組み

- ・若者の企画提案やチャレンジを後押しする仕組みづくり
- ・若者と地域住民が協働して地域課題の解決や魅力の向上に取り組む仕組みづくり
- ・年齢や世代、性別にとらわれることなくまちづくりに参加できる環境づくり など

### POINT 04 まちづくりの新たな担い手を増やす取組みの充実

- 主体的にまちづくりに関わりながら、よりよい未来を実現したいというマインドを持った担い手が次々と集まるとともに、そうした人をサポートする環境が整っています。

#### ◆推進する主な取組み

- ・ワークショップなどの交流を通じたまちづくりの担い手の育成
- ・産官学金が連携してまちづくりを行うための拠点づくり
- ・市民が主体の活動を円滑に行うための社会実験や実証事業へのサポート など

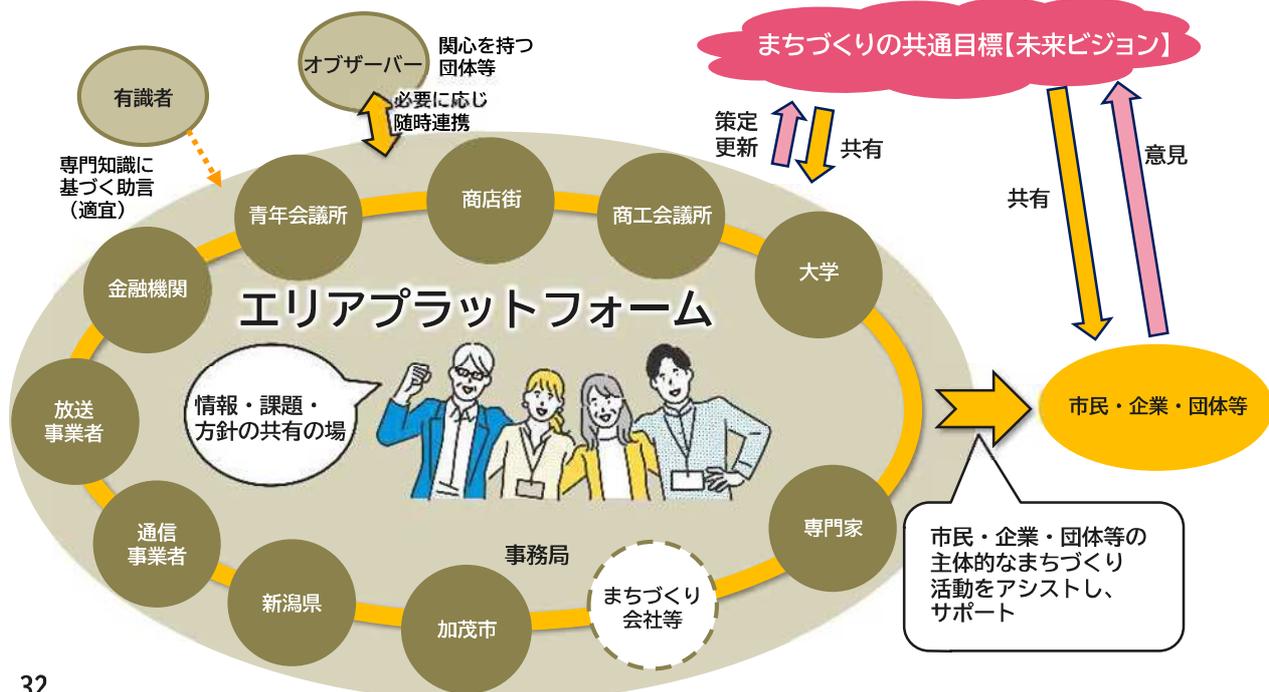


31

## 8 将来像の実現に向けた体制とロードマップ

### (1) 体制

- 将来像の実現に向けては、情報・課題・方針の共有の場である加茂駅周辺まちなかエリアプラットフォームが、市民・企業・団体等の主体的なまちづくり活動をアシストし、サポートしていきます。
- エリアプラットフォームの体制は、固定的なものではなく、まちづくりの実践を重ねながら、適宜充実し進化していきます。



32

## 8 将来像の実現に向けた体制とロードマップ

### (2) ロードマップ

- 10年後の「まちまるごと、みちのえき」の実現を目指して、できることから取組みを実施していきます。
- 概ね5年後までには、加茂駅周辺まちなかエリアでの市民の過ごし方に変化が現れはじめることを目指します。
- 概ね10年後には商店街の機能が今の社会のニーズに応えられるものになるとともに、商店街・加茂川・加茂山の魅力が一体となって「とっておきの日常」を楽しめるまちとなっています。



33

## 9 参考資料：検討の経緯

### (1) 検討の経緯

- 令和4年度は、地元組織の代表や外部有識者とともに対象エリアのあり方や今後のまちづくりの方向性などについて検討しました。
- 令和5年度は、加茂駅周辺まちなかエリアプラットフォーム準備協議会を立ち上げ、ワーキンググループ等の活動を含め、延べ11回の議論を経て、未来ビジョンの方向性を検討するとともに、年度末に加茂駅周辺まちなかエリアプラットフォームを設立しました。
- 令和6年度は、加茂駅周辺まちなかエリアプラットフォームが主体となって、令和5年度の取組み結果を踏まえながら未来ビジョンを策定しました。

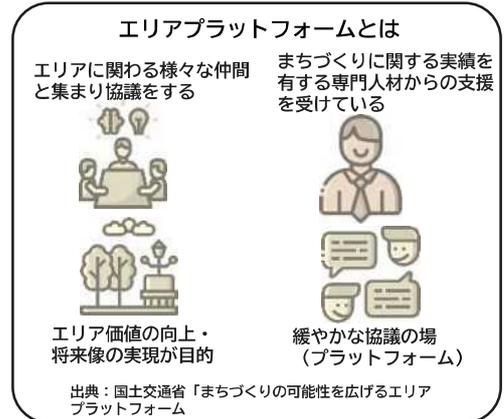


34

## 9 参考資料：検討の経緯

### (2) 令和4年度の検討

第1回 会議（令和4年11月）	・現状分析による課題の整理 ・対象エリアの検討
第2回 会議（令和4年12月）	・対象エリア課題と将来像イメージ ・課題に対する打ち手の検討
第3回 会議（令和4年12月）	・具体的な取組み案 ・今後の活動体制の検討
第4回 会議（令和5年1月）	・協議内容のとりまとめ



キーワード	必要な要素	熟慮すべき4つの軸
居心地のよさ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民の生活の質向上</li> <li>・商店街を中心軸に周辺資源の関連付け</li> <li>・回遊性と滞在性の向上</li> </ul>	交通再編によるアクセス性の向上
まちの資源を活かす		既存ストックを活用した滞在性・回遊性の向上
歩いて楽しめる		賑わいを生むまちなかの拠点づくり
		最高に幸せな日常を感じるまちのブランディング

（未来ビジョンとエリアプラットフォームの設立に向けた検討へ）

## 9 参考資料：検討の経緯

### (3) 令和5年度の検討

第1回 準備協議会（令和5年6月）	・これまでの検討状況及びエリア内の現状分析
セミナー（令和5年7月）	・エリアプラットフォームや未来ビジョンについての講義
第1回ワーキング（令和5年8月）	・まちなかの未来について（ワークショップ）
第2回ワーキング（令和5年9月）	・エリアの現状認識、課題、まちづくりの方向性
第2回 準備協議会（令和5年10月）	・エリアの目指す姿と方向性
第3回ワーキング（令和5年11月）	・方向性の深掘りに向けた作業方針及び現状の共有
個別ワーキング（令和5年12月）	・まち、みず、みどりの3班に分かれてコンセプト等の検討（各班で個別に開催）
第4回ワーキング（令和5年12月）	・個別ワーキングの結果共有と成果の磨き上げ
第3回 準備協議会（令和6年1月）	・エリアのビジョンと実現に向けたポイント
第5回ワーキング（令和6年2月）	・令和5年度の検討成果のまとめ
第4回 準備協議会（令和6年3月）	・令和5年度の検討成果のまとめ ・エリアプラットフォーム設立



## 9 参考資料：検討の経緯

### (3) 令和5年度の検討～ワーキングでの主な意見

商店街について	加茂川・加茂山について
商店街の活性化では、観光に力を入れるよりも、暮らしに密着した機能の充実が重要	河川空間がイベントの日にしが使われないのはもったいなく、日常の賑わい創出にも使えると良い
日常生活における需要に対し、商店街や駅前における供給が不足している	加茂川は、天気の良い日は加茂川に、飼い犬と一緒に散歩してみたいような場所
商店街では、空き店舗が増加し、10年後にはさらに増加すると想定される	加茂川・加茂山は、家族連れが週末にちょっと出かけるような場所のイメージ
創業件数が減ってきており、外から人を呼び込むことや、事業継承、創業の支援が課題	加茂山や加茂川などの公共空間をどのように有効活用するのが重要
カモナイトバザールの際、21台もキッチンカーが来たのにも関わらず長蛇の列で、売切れも出ており、潜在需要の現れではないか	加茂川から加茂山公園へ人の流れをどのようにつなげていくかが重要
イベントの訪問客が商店街での買物客につながっていることが課題（飲食店と日用品店では、イベントの効果が異なる）	
子どもと一緒に安心して歩くことができ、穏やかで時間がゆったり流れていると感じる	
地元の人々の生活をよりよいものとし、その結果として、観光につなげる考え方もある	

37

## 9 参考資料：検討の経緯

### (4) 令和6年度の検討

第1回ワーキング（令和6年6月）	・未来ビジョンの構成案 ・課題の再整理
第2回ワーキング（令和6年7月）	・未来ビジョンの構成案 ・具体的な取組み、ロードマップ
第1回 全体会（令和6年8月）	・未来ビジョン（素案）
第3回ワーキング（令和6年9月）	・未来ビジョン（案） ・未来ビジョン実現に向けた取組みの企画
第2回 全体会（令和6年10月）	・未来ビジョンの策定



全体会メンバーの集合写真  
(計画書や概要版を手に持って撮影等)



## 9 参考資料：検討の経緯

### (5) 検討体制

■全体会		(順不同) ( ) 内は前任者
氏名	所属	
木戸信輔	加茂商工会議所 会頭	
田邊良夫	加茂市商店街協同組合 理事長	
萩野正和	株式会社connel 代表取締役	
松井大輔	新潟大学工学部工学科 准教授	
加藤はと子	全国「道の駅」女性駅長会 会長	
高澤 浩 (中丸精一)	第四北越銀行 加茂支店 支店長 (令和6年2月から交代)	
杵鞭 久	加茂信用金庫 理事長	
小林一隆	NST新潟総合テレビ 情報制作本部 デジタルマーケティング部 部長	
藤田明美 (市川恭嗣)	加茂市長 (令和6年8月から交代)	
渋谷美浩	新潟県三条地域振興局 局長	
西村太佑 (川崎大一郎)	加茂青年会議所 理事長 (令和6年1月から交代)	
杉浦善次郎 (横山 泰)	新潟経営大学 学長 (令和6年4月から交代)	
古谷隆明 (若月 守)	NTT東日本 新潟支店 副支店長 (令和6年7月から交代)	

■オブザーバー		(順不同)
		所属
JR東日本 新潟支社		企画戦略室
Reterras合同会社		
加茂市観光協会		

- 令和5年度：加茂駅周辺まちなかエリアプラットフォーム準備協議会で検討
- 令和6年度：加茂駅周辺まちなかエリアプラットフォームで検討

■ワーキング		(順不同) ( ) 内は前任者
氏名	所属	
永山光夫	加茂商工会議所 まちづくり委員会 副委員長	
堀内大祐	加茂商工会議所 まちづくり委員会 委員	
涌井 陽	加茂市商店街協同組合 (涌井金太郎商店)	
捧 泰士	加茂市商店街協同組合 (AMEYAAISU)	
萩野正和	株式会社connel 代表取締役	
松井大輔	新潟大学工学部工学科 准教授	
加藤はと子	全国「道の駅」女性駅長会 会長	
高澤 浩 (中丸精一)	第四北越銀行 加茂支店 支店長 (令和6年2月から交代)	
水谷景子	第四北越銀行 加茂支店 主任	
山口 翼	第四北越銀行 加茂支店 主任	
小林 裕	加茂信用金庫 本店営業部 部長	
夏目一寿	加茂信用金庫 総合企画部 課長	
小林一隆	NST新潟総合テレビ 情報制作本部 デジタルマーケティング部 部長	
齋藤祐樹 (市川恭嗣)	加茂市政策推進課 課長 (令和6年8月から交代)	
中浜孝昭 (櫻木大輔)	新潟県三条地域振興局 地域整備部 計画専門員 (総括) (令和6年4月から交代)	
西村太佑 (川崎大一郎)	加茂青年会議所 理事長 (令和6年1月から交代)	
落合 純 (横山 泰)	新潟経営大学 地域活性化研究所 所長 (令和6年4月から交代)	
青山 准	NTT東日本 新潟支店 地域基盤ビジネス課	
永井麻美	NTT東日本 新潟支店 まちづくりコーディネート担当チーフ	

#### ●策定主体：加茂駅周辺まちなかエリアプラットフォーム

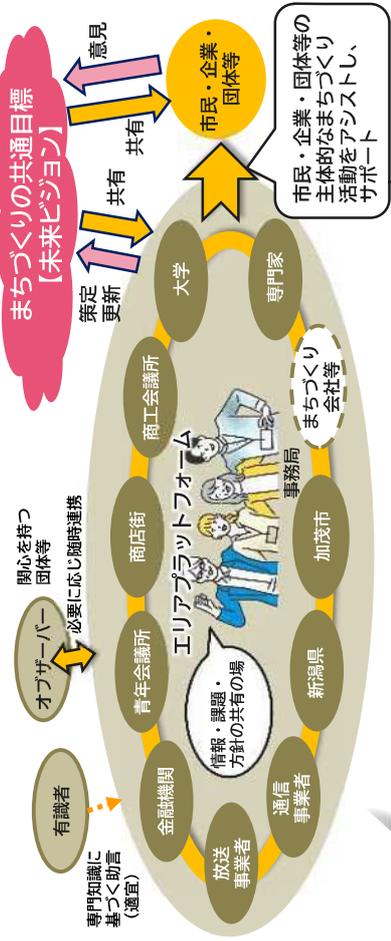
- ・ 会員：加茂商工会議所／加茂市商店街協同組合／第四北越銀行加茂支店／加茂信用金庫／NST新潟総合テレビ／新潟県三条地域振興局／加茂青年会議所／新潟経営大学／NTT東日本新潟支店／加茂市（事務局）
- ・ アドバイザー：株式会社connel 代表取締役 萩野 正和  
新潟大学工学部工学科 准教授 松井 大輔  
全国「道の駅」女性駅長会 会長 加藤 はと子

#### ●作成協力：株式会社オリエンタルコンサルタンツ

(順不同)

## 推進体制

- 未来ビジョンの実現に向けた情報・課題・方針の共有の場として令和6年3月に「加茂駅周辺まちなかエリアプラットフォーム」を設立しました。
- エリアプラットフォームは、市民・企業・団体等の主体的なまちづくり活動をアシストし、サポートしていきます。



## ロードマップ

- 10年後には、商店街の機能が今の社会のニーズに応えられるものになるとともに、商店街・加茂川・加茂山の魅力が一体となって「とっておきの日常」を楽しめるまちとなっております。

	短期 (概ね3年後)	中期 (概ね5年後)	長期 (概ね10年後)
まち (商店街)	公共空間や遊休資産等を活用したイベントや賑わい活動が増加	飲食店や物販店など暮らしを支える生活サービスが充実	公共交通を利用してまちなかで過ごす観光客や来街者が増加
みず (加茂川)	新たなイベントなどにより、加茂川に行けば楽しめる機会が増加	加茂川で休んだり、行んだり、遊んだりする環境が充実	四季を通じて、加茂川で多くの人々が滞在
みどり (加茂山)	はじめて来た人でも加茂山を楽しめる案内や情報が充実	子ども連れの家族が自然を学びながら遊べる空間が広がる	自然の神秘を感じられる滞在機能が充実し魅力的な景観を形成
つながり	まち・みず・みどりをめぐるような一体感を生む取組みが増加	まち・みず・みどりに愛着を持って魅力を高める活動が増加	1日の中でまち・みず・みどりの間を回遊する楽しみ方が定着

- 策定主体：加茂駅周辺まちなかエリアプラットフォーム  
 ・ 会員：加茂商工会議所/加茂市商店街協同組合/第四北越銀行加茂支店/加茂信用金庫/NTT新潟総合テレビ/新潟県三条地域振興局/加茂青年会議所/新潟経営大学/NTT東日本新潟支店/加茂市(事務局)  
 ・ アドバイザー：株式会社conne! 代表取締役 萩野 正和  
 新潟大学工学部工学科 准教授 松井 大輔  
 全国「道の駅」女性駅長会 会長 加藤 ほと子
- 作成協力：株式会社オリエンタルコンサルタンツ (順不同)

## 資料6

加茂駅周辺まちなかエリア未来ビジョン【概要版】

### 情報発信

# まちまるごと、みちのえき

～「日常」がとっておきの日常になる～

加茂の魅力をまるごと体感・体験

### 情報発信

商店街、加茂山、加茂川のエリア全体がうらおい空間

### 憩い・休憩

交流を生み、日常生活や地域コミュニティを支える

### 地域の連携



「みちのえき」には、「未知」や「益」という意味も込めています。

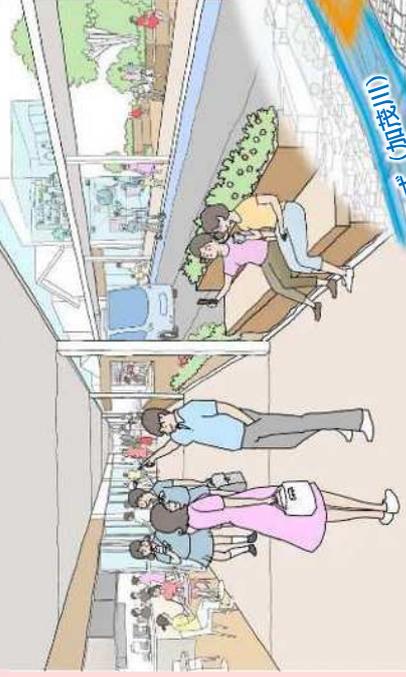
加茂のまちなかに詰まっているたくさんの可能性を花開かせ、賑わいや交流、消費といった利益や価値の創出を目指します。

これにより、このまちで過ごす、暮らす、働く時間を、「とっておきの日常」に立上げていきます。

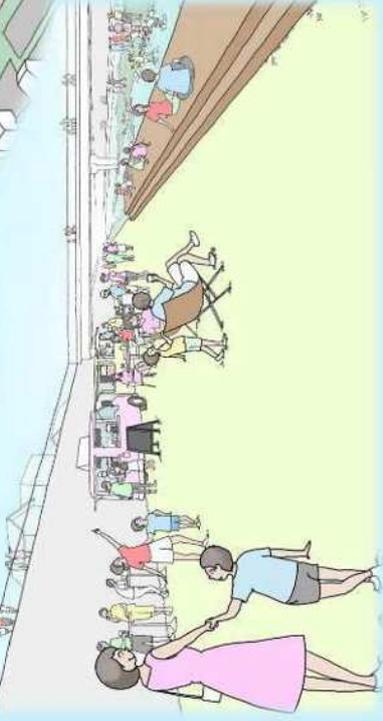
# 加茂駅周辺まちなかエリアの将来像

## ▶ まち (商店街) ワンデイ STORE × EAT

これまで長く続いてきた商店街の持つ温かさや心地よさは受け継ぎながら、新たな価値観に合ったお店、ニーズをとらえた食べ物など、沿山の「いいね！」が詰まったストリート空間が、地域をめぐる元気の源となって豊かなまちなかの魅力を伝えます。



水辺の多様な使い方が共存でき、お気に入りの「皆のリビング」として、過ごし方がシェアできる「居心地の良い場所である」とともに、誰にとっても居心地の良い場所であるとともに、四季の変化や新たな人との出会い・交流が生まれる「水辺のリビング」として楽しさがあふれます。



## ▶ みず (加茂川) みな(も)のリビング

## ▶ みどり (加茂山) うらやまテラス

自然と歴史が一体となって風格を感じさせ、このまちなか自慢のおもてなし空間であるうらやまは、まちなかにいることを思わず忘れてしまうような没入体験の機会が充実していくことで、訪れた人のココロを癒し、カラダに潤いをもたらします。



まち、みず、みどりの魅力を市民が愛着を持って磨き上げ、一体感を醸成するよう仕掛け／仕掛けつくりを進めることで、ついでにお出かけしたくなる、選ばれ場所へと加茂のまちなかを仕立て上げ、ひと・もの・ことの好循環を創出します。

水辺にカフェがあると  
いいなあ

水辺でカフェを  
オープンしたい

まちにお洒落が  
カフェがあるといいな  
(デジタルサイネージ)

みんな、  
まちづくり  
ワークショップ

高校生が  
まちづくり会議

誰もが参加できる  
まちづくり講座

おもてなし活動  
(まちの花壇づくり)

夫婦で  
加茂山散歩  
行きたいわ

ファミリーで  
加茂山ピクニック  
行こうかな

つながり  
まち (商店街)

みず (加茂川)

みどり (加茂山)

つながり  
まち (商店街)

みず (加茂川)

みどり (加茂山)